

品種	月旬	5			6			7			8			9			10				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
山田錦	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前	出穂前	出穂前	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤・苦土重焼燐を施用する。			坪50株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂10日前	出穂20日前	いもち病に注意	出穂直前	カメムシ・ウンカに注意	出穂後35日頃	稔実率の90%が黄化した時	秋すき			
	水管理			代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)							飽水管理						
	生育期	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期	

品種	月旬	5			6			7			8			9			10				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
キヌヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前	出穂前	出穂前	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤・苦土重焼燐を施用する。			坪60株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂20日前	出穂前	いもち病に注意	出穂直前	カメムシ・ウンカに注意	出穂後30日頃	稔実率の85%が黄化した時	秋すき			
	水管理			代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)							飽水管理						
	生育期	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期	

品種	月旬	5			6			7			8			9			10				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
ヒノヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中干し	穂肥	穂肥	出穂前	出穂前	出穂前	落水	刈取り	乾燥調整	土づくり				
	内容	土壌改良剤・苦土重焼燐を施用する。			坪60株、2/3本植		茎数の確保	茎数16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂20日前	出穂前	いもち病に注意	出穂直前	カメムシ・ウンカに注意	出穂後35日頃	稔実率の85%が黄化した時	秋すき			
	水管理			代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)							飽水管理						
	生育期	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期			成熟期	

### 病害虫

葉いもち病、穂いもち病、紋枯病、カメムシによる着色粒、坪枯れ

### 水田雑草

ホタルイ、クログワイ、キシュウズメノヒ、クサネム

使用時期	病害虫名	使用薬剤名	使用量
田植3日前 田植当日	いもち病、イネネミズウムシ、コブノメイガ、ウンカ類、イネネットムシ	Dr.オリゼプリンス 粒剤10	1箱当り 50g
田植3日前 田植当日	いもち病、イネネミズウムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ	デジタルコラトップアクタラ 箱粒剤	1箱当り 50g

使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前	紋枯病、コブノメイガ、イネネットムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、ニカメイチュウ		バダンパッサバダ 粉剤DL	4kg
出穂直前 (収穫14日前まで)	いもち病、紋枯病、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、カメムシ類、イネネットムシ、ウンカ類	ラテラワイド 粉剤DL		4kg
出穂 10~14日後 (収穫7日前まで)	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イネネットムシ、カメムシ類	トレボン粉剤DL		4kg

使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前	紋枯病、コブノメイガ、ニカメイチュウ		ルーバンリンパー 粒剤	3kg
出穂 10日前 (収穫35日前まで)	いもち病、紋枯病、穂枯れ(こま葉枯病)、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、カメムシ類	イモチエース スタークル粒剤		3kg

### 除草剤

草の多い田(2回)散布  
草の少ない田(1回)散布

使用薬剤名	サキドリEW (液剤) + トップガンGT1キロ粒剤51	使用量(10a)	500ml + 1kg
使用薬剤名	トップガンGT1キロ粒剤51 又は トップガンLフロアブル 又は トップガンLジャンボ	使用量(10a)	1kg 又は 500ml 又は 1パック(250g)

**除草剤の効果的な使用方法**

- くれ返しはできるだけ深く、2回以上行って下さい。
- 畦畔からの水漏れを防止して下さい。
- 代かきはできるだけ水を少なくし、トラクターのロータリー回転を落とし、田面が均平になるよう行って下さい。

### 品質向上のポイント

- 窒素(タンパク質)含有率を抑える
- こまめな水管理
- 適期刈取り
- ていねいな乾燥・調整

### 倒伏防止対策

- 健康の植付け、適正な植付密度、施肥管理、水管理により過繁茂を防ぎ、太茎にするとともに、株間の通風と採光を良くする。
- 節間伸長期(出穂25日前以降)に窒素を効かせすぎないようにする。
- 紋枯病の予防。
- 中干し以降の飽水管理により根の活力を維持する。

### 斑点米対策

(カメムシ防除が斑点米の発生を防ぎます)

- 水田周辺(農道・畦畔・休耕田等)の雑草を出穂の2週間前までに刈り取って下さい。
- 畦畔からの飛込みによる被害が多いので、畦から3m以内を重点的に防除して下さい。
- 基幹防除は必ず行い、臨機防除については発生に応じて防除を行って下さい。
- 多発時、穂そろい期~傾熟期に薬剤を散布します。散布適期は、出穂後10~14日頃が目安です。

### 土づくり資材

資材名	保証成分 %	基準 (kg/10a)
みらいくん	可溶性りん酸 2.0% 可溶性けい酸 24% アルカリ分 38% 可溶性苦土 8% 腐植酸 7%	200kg
とれ太郎	アルカリ分 40% 珪酸 30% 苦土 12% リン酸 6%	60kg
アヅミン	腐植酸 約50% 苦土 10%	40kg
苦土重焼燐	リン酸 35% 苦土 4.5%	40kg

## 施肥基準

品種	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥	穂肥	成分量		
						N	P	K
山田錦 (単位: 10a当りkg)	山田錦化成 12-14-16	15	15			1.8	2.1	2.4
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20~40	20~40					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
	穂肥有機 12-4-14	20		10	10	2.4	0.8	2.8
省力体系	ハイセラコートR004 20-10-14	20	20			4.0	2.0	2.8
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20~40	20~40					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
キヌヒカリ (単位: 10a当りkg)	JA兵庫みらい化成 14-12-14	35	35			4.9	4.2	4.9
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20	20					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
	ニューかん太郎有機 12-6-12	30			30	3.6	1.8	3.6
省力体系	ハイセラコートR024 20-10-14	35	35			7.0	4.2	4.9
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20	20					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
ヒノヒカリ (単位: 10a当りkg)	JA兵庫みらい化成 14-12-14	35	35			4.9	4.2	4.9
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20	20					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
	ニューかん太郎有機 12-6-12	30			30	3.6	1.8	3.6
省力体系	EMコート045 20-14-15	40	40			8.0	5.6	6.0
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20	20					苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素

●省力体系で側条施肥の場合は、元肥量を1割減にして下さい。

環境にやさしい農業をすすめています。